

【1 回目登壇】

こんにちは。維新の会の辻信行でございます。

第16回定例会におきまして、質問の機会をいただきありがとうございます。先輩、同僚議員の皆さまにおかれましては、しばらくの間、ご清聴のほど、よろしく願いいたします。

今回は、市長の政治姿勢について。前回に引き続き、小学校の夜間照明設備利用料について、地域コミュニティについて、質問させていただきます。

通告していましたが、不妊治療の状況については、次回以降に質問させていただきます。

それでは、質問に入らせていただきます。

まずは、市長の政治姿勢についてです。

市長に就任しまして、市税収入が過去20年で最高額になりました。20年間と言いますとちょうど、白井市政と稲村市政で20年です。もちろん、今までの市長の功績もあります。そして尼崎市の財政問題はまだまだ

山積しています…そこで、お伺いいたします。

この市税収入が過去20年で最高額になった財政状況をどのように考えていますか。

そこで、市長の公約でした、18歳までの医療費の無償化も早まったのではないかと思います。お伺いいたします。

18歳までの医療費の無償化は、今年度中に実現できますでしょうか

18歳までの医療費の無償化を達成いたしましたら、次は、なにに取り組んで行くのか公約として何を掲げるのか。

市長の考えをお聞かせください。

次に、前回に引き続き夜間照明設備のある小学校の利用料についてお伺いいたします。

小学校運動場の夜間照明を利用して練習をしている、少年野球チームや少年サッカーチームの方から

1日500円の利用者負担金をいただいておりますが、小学校の体育館の夜間照明設備を利用している空手や剣道の方からは、利用者負担金をいただいていません。少年野球チームや少年サッカーチームの代表や監督・コーチ・育友会の皆様は、子ども達のために、昼夜を問わず無報酬でお世話をいただいております。

子どもが利用する、夜間の照明設備です、運動場の夜間照明利用者負担金を無料にできないでしょうか。お考えをお聞かせください。と質問を致しました。答弁は、運動場の夜間照明は、主に学校活動で使用される体育館とは異なり、学校開放事業のために整備した設備であり、特定の利用者が使用すること、また電気料金につきましても、体育館と比べても非常に高額となることから、引き続き利用者負担金をいただき、電気料金や修繕費等に充ててまいりたいと考えておりますと、答弁

をしていただきました。そこで、伺いたいたします。

学校活動で使用している体育館も、夜間使用しているのは、特定の利用者ですか。

大人が使用する体育館の夜間料金はいただいていますか。

小学校の夜間照明設備を整備したのは、何十年前ですか。

運動場で、2時間ぐらい夜間照明を利用した電気料金と体育館の電気料金を教えてください。

夜間照明設備のある18校全てで子どもが使用した令和4年度の夜間照明利用料金は、約150万円です。いっぽう、照明設備の修繕費は、令和2年～令和4年の3年間で、約100万円です。

本市が、年間どの位の予算を負担していただければ、夜間照明設備利用者負担金を無料に出来るとお考えですか

次に、地域コミュニティについてお伺いします。

新型コロナウイルス感染症も今年の5月、2類から5類に移行し、マスクを付ける方も減ってきましたが、まだまだ予断を許しません。一人一人の意識をしっかりと持つ事が大切です。

そんな中、今年は、楽しみにしていた夏祭りが3～4年ぶりに地域各地で行われ、たくさんの方々が楽しんでいました。

そこで気づいた事は、地域の格差です。

地域を回っていると、南部では高齢化が進んでいる一方、北部にファミリー世帯などの若い世帯が集まっているように感じます。

そこで、お伺いいたします。

本市は人口動態等の違いをどのように評価しているのでしょうか。また、それを課題と認識しているのであれば、どのように対応しようとしているのでしょうか。

以上で、1回目の質問を終わります。

【2 回目登壇】

最後に要望をさせていただきます。

市税が過去 20 年間で最高額になり、市長への期待もたかまります。財政状況は他都市に比べるとまだまだ厳しいのが現状ですが…本市の明るい未来を考えると、子ども達のために子どもに寄り添った施策を期待しています。

小学校運動場の夜間照明利用者負担金は、少年野球や少年サッカーチームの負担を軽減していただきたいと質問を重ねましたが、夜間照明の電気料金、年間の負担額（夜間照明が設置されている 18 校すべて合算して）概算で 700 万円とのことでした。しかし、この夜間照明利用者負担金、平成 22 年、本市が行政改革を執行するまでは、無料だったと聞きました、行政改革はもちろん必要です。しかし、子ども達の負担を軽減する施策には、予算を使っていただきたいと思います。

地域コミュニティについては、人口動態には南北に大きな差はないとのことでしたが、少子高齢社会といったことも、地域コミュニティを弱小化している要因だと思います。

地域コミュニティの活性化のためにも、各地域の環境・特色を考慮しながらファミリー世帯の定住・転入促進に努めていただき、地域コミュニティの発展と住み続けたい街づくりに尽力してください。

これで、私の質問を終わります。
ご静聴ありがとうございました。